

平成30年度決算概況

令和元年8月29日 市長定例記者会見

一般会計

歳入決算額 5, 420億5, 100万円

歳出決算額 5, 355億9, 800万円

実質収支額 14億7, 800万円

決算規模は、過去最大

〔一般会計〕

歳入の主な特徴

- 市税収入 2, 651億7, 800万円
前年度比 311億9, 700万円、13.3%の増
- 国庫支出金 903億6, 500万円
前年度比 38億2, 500万円、4.4%の増
- 県支出金 211億4, 400万円
前年度比 6億8, 700万円、3.4%の増

〔一般会計〕

歳出の主な特徴

- 義務的経費 2, 989億9, 200万円
前年度比 55億2, 600万円、1.9%増
- 投資的経費 787億 100万円
前年度比 3億9, 700万円、0.5%増
- その他経費 1, 579億 600万円
前年度比 68億6, 900万円、4.5%増

特別会計

国民健康保険事業特別会計ほか 13 会計

●歳入決算額 3, 054億4, 800万円

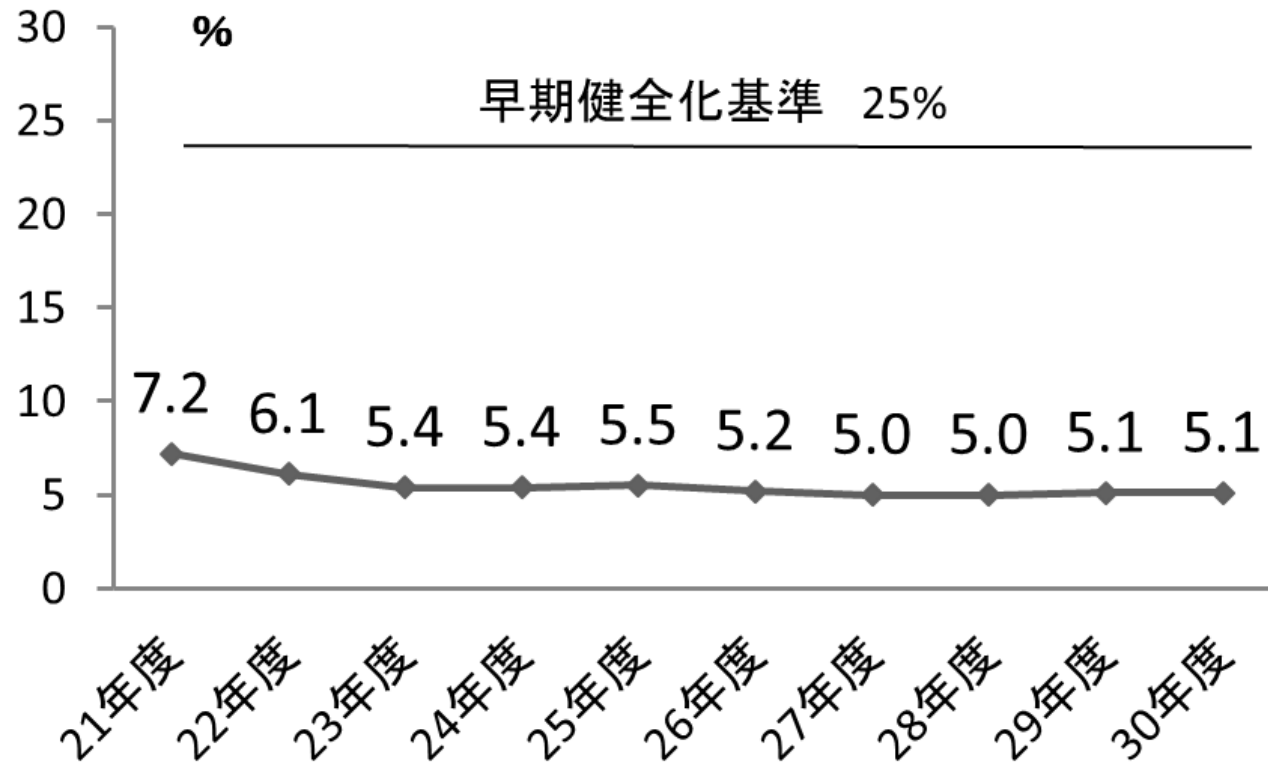
●歳出決算額 3, 040億3, 500万円

●実質収支額 11億3, 900万円

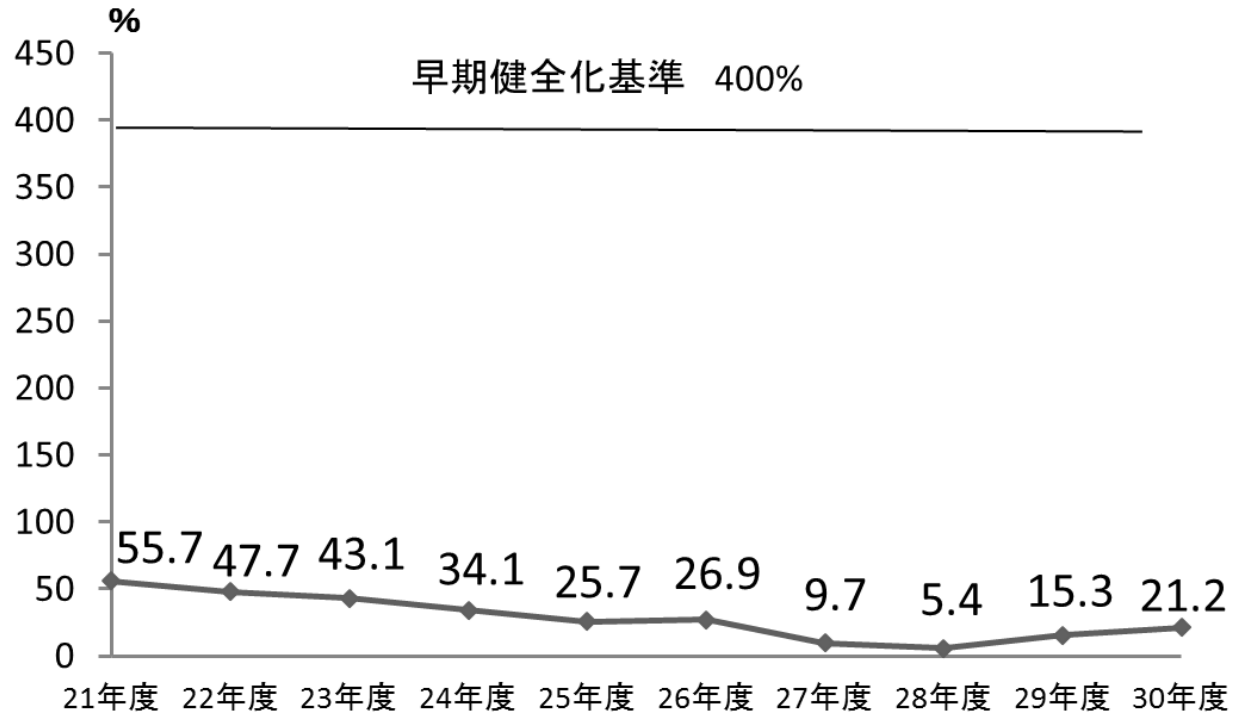
財政健全化判断比率等

●実質赤字比率、連結実質赤字比率 黒字

●実質公債費比率 5.1%



●将来負担比率 21.2%



●資金不足比率

- ・ 9企業会計のいずれも資金不足は発生していない

公営企業会計

●水道事業会計

・事業収益	308億7,	100万円
・事業費用	255億6,	800万円
・当年度損益	53億	300万円

●病院事業会計

・事業収益	172億9,	500万円
・事業費用	171億	100万円
・当年度損益	1億9,	400万円

●下水道事業会計

・事業収益	244億7,	100万円
・事業費用	232億6,	400万円
・当年度損益	12億	700万円